

まちの話題



大栃中生徒が 間伐作業で林業体験

六月二十九日、物部町笹地区で林業体験教室が開かれ、大栃中学校の生徒十名が、松林の間伐作業を行い、森林の役割と間伐の必要性を学びました。

体験教室は、森と緑の会香美市支部が企画し、大栃中で総合学習「魚と環境」をテーマに学習している一年生八人と三年生二人が参加。

生徒らは、事前学習で「木が混み合って太陽の光が届かなくなり、成長の衰えた木を間引くことで、残った木の成長を促し、利用価値の高い木材の生産や土砂災害を防ぐ」など間伐の効果を学び、実際に間伐作業



体験学習での間伐作業

を体験。物部森林組合職員の指導のもと、初めてチェーンソーを手にした生徒らは回転しながら木に吸い込まれていく刃先を見つめ、「すごい」「大変な仕事」と額に汗を浮かべながら真剣に作業に取り組んでいました。



祭壇に手を合わせる遺族

繁藤災害犠牲者の めい福を祈り

六十一人の尊い命を一瞬のうちに奪った昭和四十七年の繁藤災害から三十五年祭をむかえる『繁藤山くずれ殉職殉難者追悼慰霊祭』（祭主：西岡統一遺族会長）が七月五日、土佐山田町角茂谷の哀悼の広場で執り行われました。

慰霊祭には、時折、激しい雨が降る中、遺族や消防地元関係者ら約百人が参列。仏式に続き神式で祭事が行われた後、遺族の代表者らが焼香し、玉ぐしをささげました。遺族らは、祭事が終わった後も祭壇に手を合わせ、犠牲となった肉親のめい福を祈っていました。

犯罪や非行のない 明るい社会をめざして

七月の第五十六回社会を明るくする運動強調月間にあわせて、七月四日に土佐山田町の八王子宮境内で同運動実行委員会主催による集会が開かれ、市内の各種団体や企業など二十一団体・百三十二人が参加しました。

同運動は、犯罪や非行の防止と、罪を犯した人たちの更生に理解を深め、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。集会終了後には、県警音楽隊を先頭にパレードや、広報車の巡回などが行われ、運動への理解を呼びかけました。



商店街をパレード



子どもたちも一緒にバケツリレー

自主防災組織が 七夕祭りを開催

地域が連携して防災意識を高めようと、土佐山田町の小島・古町・原東の三地区の自主防災組織が共催した七夕祭りが、七月一日に中井川沿いの空き地で開催されました。

祭り会場に「大きな地震がおきませんように」など防災に関する願いが書かれた短冊が付けられた七夕飾りが並ぶなか、消火訓練を行い、子どもも大人も協力してバケツリレーを行いました。祭りを通じて三地区の住民が、防災について語り合い、交流と親睦を深めました。

まちづくりをテーマに 香美市生涯学習推進大会

生涯学習によるまちづくりをめざし、『第一回香美市生涯学習推進大会』が七月八日にプラザ八王子で開催され、約九十人が参加しました。



発表する香北中生徒会

献血推進に強い味方

JR土佐山田駅前の国道一九五号交差点に、献血の告知用看板がお目見えしました。これは、土佐山田ライオンズクラブ（大橋明美会長）が「献血事業の推進に役立てて欲しい」と製作設置していただいたもので、七月三日に現地で、香美市

香美市として第一回目の

今回は「まちづくり」をテーマに、第一部では舟入小学校（地域のつながりを大切にイベントで校区を活性化）、香北中学校（生徒会を中心とした廃品回収で学校と地域が連携）、奥物部を楽しむ会（地域の特性を生かした体験型観光事業への取り組み）の三団体が活動発表を、第二部では高知県生涯学習研究所の明神宏和所長が、「合併とまちづくり（地域づくりと生涯学習）」と題して講演を行いました。発表・講演を通じて、人と人との関わりや仲間と一緒に活動することの大切さが参加者に伝えられました。

に寄贈されました。

今後の事業推進に大いに活用させていただきます。（健康づくり推進課）



きれいなまちを 目指して



約40袋分のごみと参加者

六月二十二日、(有)香北観光と香北町本町老人クラブの二十四人により、国道一九五号線沿いの清掃が行われました。

この活動は、道路を利用する者として道路愛護の精神を常に持つていようと、今年で六回目の実施となりました。香美市になったことで清掃の範囲を広げ、宮ノ口から大栃までの国道沿いに落ちていたごみを回収し、集まったごみは約四十袋にもなりました。参加者はきれいなまちとなるよう「来年以降もこの活動を続けていきたい」と話していました。

土佐山田町体育会が 3氏に表彰状を贈呈



左から山地さん、山崎さん、川越さん

六月十九日に行われた平成十八年度土佐山田町体育会総会で、体育会に顕著な功績のあった次の方々に表彰状が贈られました。

「功労賞」

山地正明さん「審判長として長年にわたり県ソフトボール振興に貢献
山崎博也さん「選手として国体優勝や、連盟理事として長年にわたり県の弓道振興に貢献
「優秀賞」

川越一彦さん「第二十一回一条大祭弓道大会五段以上の部で優勝

児童らが手づくりの オカリナでコンサート

「風のオカリナコンサート」(佐岡、平山両地区公民館が主催)が、六月二十五日に休校中の平山小学校体育館で開催されました。地元住民ら約六十人を前に、佐岡、楠目、舟入の各小学校児童や保護者が手づくりのオカリナで合奏を行いました。会場の体育館全体を優しい音色でつつみみました。



児童と保護者がオカリナを合奏

姉妹都市・積丹町しやこたん(北海道)との交流

積丹町と合同チームで

YOSAKOIソーラン祭りに参加

「第十五回YOSAKOI

ソーラン祭り」が六月七日から五日間、札幌市で開催され、三百五十チームの踊り子が参加し、延べ百八十六万人の観衆でにぎわい

ました。今年には合併後、香美市としての初参加となり、西村芳成実行委員長を含む踊り子隊と門脇市長を団長とする訪問団(総勢四十二名)



12年連続で合同チームで参加したYOSAKOIソーラン祭り

が参加。当市の

姉妹都市・積丹町(北海道)と十二年連続で合同チームを結成し、交流を深めてきました。

高知県の「よさこい祭り」と北海道に古くから受け継がれてきた民謡ソーラン節を融合させた「YOSAKOIソーラン祭り」に参加するのは、旧土佐山田町から通算すると第二回以来、連続十四回目となります。

六月九日朝、高知を出発し、積丹町へ到着

後、積丹町の踊り子たちと合同練習を実施。短時間の練習でしたが、両市町それぞれの練習

の成果を確認し合いました。

山田太鼓の勇壮な演奏で幕開けした「積丹町前夜祭」で合同チームとしての初踊りを披露。息のあつた踊りで、会場から温かい拍手を受けました。

十日、十一日の両日は、大通公園をはじめとする札幌市内三十一会場で繰り広げられた本祭に参加。フラフを飾った山田太鼓を乗せた地方車を先頭に、笑顔と掛け声で元氣よく踊りました。ファイナルコンテスト進出チームには選ばれませんでした。各会場に詰めかけた大勢の方々から大きな拍手と声援をいただきました。

残念ながら本年度の参加をもって、合同チームは一旦、解散することになりましたが、両市町の踊り子は解散を惜しみながら、今後もさまざまな形で交流の継続を誓い合いました。

香美市の地場産品を販売する訪問団



第1回積丹ソーラン味覚祭りに参加

YOSAKOIソーラン祭り参加に続き、香美市姉妹都市友好都市交流推進協議会(岡本和夫会長)が主体となつて毎年行われている積丹町への訪問・交流事業(六月二十四日～二十六日)が行われ、香美市から七人の訪問団で積丹町を訪れました。

旧土佐山田町から通算すると今年で十回目となる今回の訪問で、「第一回積丹ソーラン味覚祭り」に参加しました。昨年までは「ド」と来い積丹味覚祭り」の名称で開催されていた祭りが、八月に開催されていた

「お神威かむいソーラン祭り」とドッキングしたもので、とれたてのウニはもちろん、イカやツブ貝など、積丹町ならではの味覚を存分に楽しめ、夜間は納涼祭や打上花火が楽しめる盛大なお祭りにリニューアルされました。

祭り会場で訪問団は、香美市の地場産品である土佐打刃物や生妻製品、ゆずジュース等を販売したほか、高知県の味覚を代表する「鰹のたたき」も販売し、客足が絶えないほどの盛況ぶりでした。

今回の訪問で、より深い友好関係が築かれ、両市町にとつて意義深い訪問となりました。

会員を募集

香美市姉妹都市友好都市交流推進協議会では、随時、交流活動にご賛同をいただける会員を募集しております。入会に関するお問い合わせは、事務局(香美市役所企画課 53-3114)までお願いいたします。